

稼働率の向上
利用者の増加



離職者の減少
人材採用の
成功

中重度者に対応したケアへのレベルアップ

平成27年度 老人福祉施設管理者スキルアップ講座

1 目的

2015年介護報酬改定では、施設サービス、在宅サービスの双方で、中重度者への対応を重視する方向性が明確に打ち出されました。特別養護老人ホームは入居要件が原則要介護度3以上となり、日常生活継続支援加算において、それ以上の中重度者への対応ができることが運営の安定には必須となりました。在宅サービスにおいても、デイサービスセンターでは中重度者をみることによって大きな加算がつく改定となっています。さらに、総合事業の実施により、デイサービス、訪問サービスとも、中重度者への対応が運営安定の必須条件となっています。「トータルケア」は、中重度者に対応したケアや研修制度・人材育成等にかかわる総合的な運営システムです。中重度者へのケアに必要な看護、介護、栄養等の多職種協働を支えるシステムです。全国で多くの施設が取り入れはじめ、稼働率の向上、利用者の増加、離職者の減少、人材採用の成功、中重度者に対応したケアへのレベルアップなどの結果を残し、運営の安定を手に入れています。

本研修では、これからの在宅サービス、施設サービスの運営に重要な「トータルケアシステム」と成功事例について解説します。

2 主催 北海道老人福祉施設協議会

3 開催日程・場所

と き 平成28年3月17日(木) 10:00～16:00(受付9:30～)

ところ 北農健保会館 大会議室

(札幌市中央区北4条西7丁目1番4 TEL:011-261-3270)

4 定員:100名 5 参加対象:施設長、管理者、現場統括、リーダー、看護師、栄養士 等

6 研修内容・講師

テーマ

「施設・在宅の重度化に対応した最新ケア
トータルケアの基礎理論
～多職種協同による重度者の状態観察の
方法とケース記録～」

講師

全国高齢者ケア研究会
研究委員長 泉田 照雄 氏



【講師紹介】: 泉田 照雄 氏

1963年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。日本で最も多くの介護現場(400カ所以上)を訪ねる。ユニットケアと小規模多機能居宅介護を制度にするのに関わる。小規模多機能型居宅介護、ユニットケア、高齢者にやさしい地域づくりをテーマにした全国高齢者ケア研究会で、全国の先進的な介護施設とケアや地域づくりの研究に取り組む。北海道美瑛町、鷹栖町等で高齢者福祉を中心とした地域づくり計画、高齢者ケアの向上プロジェクトに参画。高齢者ケアの向上をはかる施設運営プログラム「トータルケア」の普及を行っている。

○研修参加費 老施協 会員 5,000円
老施協非会員 10,000円

・応募多数の場合は、道老施協会員を優先し、法人内での参加人数の調整をさせていただく場合や、ご参加をお断りする場合がございますのでご了承ください。お断りする場合のみ、ご連絡を差し上げます。

施設名		施設種別	特養・養護・軽費・ケアハウス デイ・老健・その他（ ）	会員・非会員
施設 住所	〒	TEL		担当者名：
		FAX		

No	氏名	性別	経験年数	職種	備考
1	フリガナ	男・女	年		
2	フリガナ	男・女	年		
3	フリガナ	男・女	年		

北海道社会福祉協議会 担当：宮川・富川 TEL011-241-3766 FAX011-280-3162
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 北海道社会福祉総合センター